

組合基本方針 組合の団結と調和 日本一の工業団地を目指す！

新年のご挨拶



流山工業団地協同組合 理事長 洞下 英人

新年あけましておめでとうございます。

組合員の皆様ならびにご家族の皆様におかれましては、お健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また、平素より組合活動にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、日本国内もようやく新型コロナウイルスとの共存下での新たな経済活動に落ち着きが見られ、海外からの観光客も急増し観光地が予想以上に活況となるなど、業種によって違いはあるものの景気は着実に回復しつつあります。一方で、去年は原材

料および人件費の高騰に円安が重なり、あらゆる物の価格が上昇し、販売価格へスムーズに転嫁できない企業が散見された一年でもありました。

当組合における共同受電も値上がり傾向にありましたが、ようやく落ち着きを取り戻しつつあり、課題の一つである『特別高圧受電』についても再調査を検討しているところであります。また、もう一つの懸案事項である『組合員の駐車場補充』については、新用地の購入に向けて動き始めており、今年度内での用地購入の目途が立ち、安堵しているところです。

2024年の干支は、甲辰（きのえたつ）です。甲と辰の組み合わせの本年は、「古い殻を破り新たな芽を伸ばすのにうってつけの縁起の良い年」と言われております。当組合におきましても、土地の購入や新たな取組みに着手するには良いタイミングと期しております。この機運をバネに、組合員同士の積極果敢な活動と新川耕地周辺の物流センターの皆様と連携した社会貢献活動を更に推進してまいりたいと考えております。

本年も、組合員の皆様とのコミュニケーションを活発化し、益々の事業繁栄にむけて邁進してまいりたく、引き続き、組合活動への積極的なご参加とご協力をお願い申し上げます。皆様のご多幸と益々のご繁栄を祈念申し上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。

組合年度方針

共同受電の契約種別の研究、検討
組合と新川耕地の経営環境と雇用の発展
新たな方法による共同事業の検討
感染症に関する対応と各種情報の提供

新年のご挨拶

流山市長 井崎 義治

新年明けましておめでとうございます。本年も爽やかな希望に満ちた新春をお迎えになられたこととお喜び申し上げます。

流山工業団地協同組合の皆様には、日頃から市政の各般にわたりまして格別なるご理解とご協力を賜り、また、本市の発展と地域経済の活性化に多大な貢献をされておりますことに、厚くお礼を申し上げます。

このたび『工業団地ニュース』がめでたく新年号の発行を迎えられたことは、これまでの37年にわたる歴代の理事長をはじめ、関係者の方々の並々ならぬご努力の賜物であり敬意を表する次第です。

また、新型コロナウイルス感染症の5類への移行により、経済活動がコロナ禍以前の水準に戻った一方で、燃料価格や原材料価格の高騰への対応に取り組まれている貴組合員の皆様に心から敬意を表します。

本市は子育て世代の転入と高い出生率により、人口21万1千人を超えました。また、令和5年11月には三郷流山橋が開通し、今後ますます利便性が向上してまいります。

これからも洞下理事長を中心に貴組合が基本方針に掲げている「組合の団結と調和、日本一の工業団地を目指す」の体現に向けて皆様の更なるご飛躍をご祈念いたしまして、私からのお祝いの言葉と致します。



流山商工会議所 会頭 田口 佳子



新年あけましておめでとうございます。

流山工業団地協同組合の皆様には会議所運営にご協力いただきまして、厚く御礼申し上げます。

パンデミックが収束して、社会は日常を取り戻しました。一方、ウクライナ情勢、中東での危機は続いております。

世界は今、不幸にして長く続いた平和な時代の転換点を迎えてしまいました。一方では生成AI等様々なデジタル技術が発展を遂げ、これまでになかった新サービスやビジネスモデルが生まれて、時代のパラダイムシフトに拍

車をかけております。しかし、製造業には不幸にして現場不祥事が相次ぎ、これが大企業に於いても拡がっております。つまり、DXと人の叡智の共存は不可欠であります。これらの問題はAIで対処できない事例も多く、結局の処、経験と場数を踏んだ人でしか的確に対応できないと思われまます。現場が再び試されて来ているのです。このままでは企業の存続も発展もし難いということではないでしょうか。つまり我々は人材育成、人的資本経営で変化の時代を勝ち抜いていかなければなりません。製造現場の中で、貴組合員の皆様には日本の失われた三十年を取り戻し、新たな強い日本をつくる正念場に向かっていただき度、ご期待申し上げます。

流山商工会議所と致しましては、経営塾の開講、コワーキングスペースおたかの森「創造の箱」の開設など、新たなスタートを始めております。結びに、貴組合の益々の発展をご祈念申し上げまして、年頭のご挨拶とさせていただきます。

クレーン特別運転教育を受講して



2023年8月17日、18日の2日間、クレーン吊り上げ荷重5トン未満の運転資格取得に向けてクレーン特別運転教育が実施されました。

1日目は学科、2日目は学科と技能講習が行われ、学科でクレーンの用語や構造、力学や法令などのクレーンに関する知識を講師の方が分かりやすく授業してくださり、理解することが出来ました。その中でも私はクレーンで実際に起きた災害、事故を取り上げた授業で取り扱いや注意を怠ると人的、物的の大きな被害につながる危険性があるのでクレーン事故を防ぐためにも知識・技量・判

断力を身につける事が重要だと思いました。技能実習では操作方法や注意点を実際にクレーンを操作しながら、安全な立ち位置の指導や、重量物を安定して運搬する操作方法など分かりやすく指導してくださいました。

私の仕事は、クレーンを操作する機会が多いためとても勉強になりました。

今回の特別教育を受講して、クレーンに対しての認識が大きく変わりました。やはり重量物を運搬するのに便利だが取り扱いを誤ると大きな事故、災害につながる恐れがあるので日々の点検、状況確認、防止対策を忘れずに行いながら、特別教育での知識を活かして安全第一に操作する技能を身につけたいです。

有限会社澤地シェルモールド 梅澤 雄太

防災訓練の実施について

能登半島地震での被害に深くお悔やみ申し上げます。被災された皆様に心よりお見舞い申し上げ、一日も早い復興をお祈りしております。

流山工業団地協同組合で初めてのBCP (Business Continuity Plan) 防災訓練が2023年11月17日に総務委員会メンバーにて実施されました。この経験は非常に意義深く、組合員一同が連携し、災害に対する備えを深める良い機会となりました。

まず、LINE WORKS (ソーシャル・ネットワーキング・サービス (SNS)) を使用して総務委員会全体での協力体制が築かれたことが印象的でした。BCP訓練を通じて、各企業が連携し、情報共有や連絡手段の確立が進められました。これにより、災害時においても円滑な連携が可能となり、被害を最小限に食い止めることが期待されます。

また、訓練では現実的な災害シナリオに基づいて様々な対応が試されました。これにより、参加者は実践的な状況に対処するスキルを磨くことができ、個々の組織が抱える課題や改善点が浮き彫りになりました。今回の訓練を通じて、総務委員会は自己評価を行い、今後のBCP策定や防災対策の充実に向けて2024年1月17日の定例総務委員会内で、具体的な方針を立てることになります。

訓練の進行やフィードバックセッションでは、参加者間での意見交換が盛んに行われ、新たなアイデアが共有されました。これにより、団地全体のBCPがより効果的に機能するための改善点が明らかになり、今後の訓練や対策の質を向上させる手助けとなりました。

緊急事態に対処するためのBCP防災訓練は、組合員の一体感を高め、地域全体の安全・安心を確保する上で非常に重要な一環となりました。今後も定期的な訓練を通じて、より強固なBCPを構築し、災害時においても円滑な対応が可能となるよう取り組んでいくことが必要です。

能登半島地震が発生したことを受け、地震のリスクと防災の重要性が一層浮き彫りになりました。この出来事を通じて、私たち総務委員会では災害に対する備えの不可欠さを再認識し、防災の準備を深く考えさせられました。

流山工業団地協同組合
総務委員会 委員長 小野 幸一

事務局だより

7月26日（水） 献血運動推進全国大会が、千葉ポートアリーナで開催され、当組合が、厚生労働大臣より感謝状をいただきました。

この感謝状は、常日頃組合で実施する献血にご協力いただいております、皆様のおかげでいただくことができました。誠に協力ありがとうございます。引き続き、献血にご協力いただけますようお願い申し上げます。

9月16日（土） 三団地ゴルフコンペ開催

笠間カントリークラブで、野田、柏、流山の三工業団地によるゴルフコンペが、20名の参加で開催されました。

結果は、団体 優勝 柏工業団地

2位 野田工業団地

3位 流山工業団地

個人 優勝 三井 保宏 氏 [野田工業団地]

2位 今西 誠 氏 [柏工業団地]

3位 猪野みどり 氏 [柏工業団地]

今後の予定

1月11日（木） 新年挨拶回り

1月31日（水） } 生産性向上支援訓練

2月 5日（月） } AI（人工知能）活用

3月23日（土） 第22回組合ゴルフコンペ

編集後記

まもなく新年を迎えます。今年を振り返り、更なる発展・成長を皆で望んでいる歳末かと思えます。住友生命保険の今年創作4文字熟語最優秀作品は「アレ貫徹」でした。

元の4文字熟語は「初志貫徹」です。これは、プロ野球・阪神タイガースの岡田監督が優勝を言い換えた「アレ」を踏まえ、見事にリーグ優勝を果たし、そして38年ぶりの日本一を成し遂げた事実を表現したものです。

高校野球甲子園の話題では、専松・土浦日大の躍進がありましたが、注目された言葉として「エンジョイベースボール」「自分たちで考え、自分の役割を全うしよう」・・・がありました。企業活動にも共通しますね。

自身や会社の「アレ」や「コレ」を振り返り、新たなはじめへの準備と致します。

株式会社サンオー 大塚 英一

流山工業団地協同組合

編集・発行：におどり次世代会

〒270-0107 千葉県流山市西深井1028-46

☎ 04(7153)3001